

第67回

税理士試験

財務諸表論



内田 俊弘
財務諸表論 講師

Special Discussion

問題番号	出題された論点	難易度	本人の出来	受験生の出来
第1問	1(1) 企業会計原則の規定の穴埋め	○		○
	1(2) 当期純利益の特徴	○		○
	1(3) 有形固定資産の減価償却	○		△
	1(4) 償却性資産の再評価	△		△
	1(5) 棚卸資産の払出単価	△		△
	1(6) 期間配分の手続に基づき経営成績を捉える理由	△		△
	2(1) クリーン・サ surplus 関係の内容	○		○
	2(2) 資本取引に該当しない取引	○		○
	2(3) クリーン・サ surplus 関係を損なわない取引	○		△
	2(4) 費用処理すべき項目を剰余金の分配として処理した場合	○		△
第2問	2(5) リサイクルの内容と必要性	△		△
	問1の1 空欄補充問題	○		△
	問1の2 資産除去債務に該当しないもの	○		○
	問1の3 資産除去債務の測定値の属性の基礎	△		×
	問1の4 引当金処理の考え方と両建処理が引当金処理を包摂する理由	○		○
	問2の1 見積りを変更した場合の他のアプローチ	△		△
第3問	問2の2 見積りを変更した場合の会計処理とその根拠	△		△
	現金及び預金	○		○
	受取手形	○		○
	売掛金	○		○
	商品	○		○
	仮払金	△		×
	前払費用	○		△
	未収収益	○		○
	短期貸付金	○		○
	貸倒引当金	△		△
	建物	○		○
	リース資産	○		○
	投資有価証券	○		○
	関係会社株式	○		○
	差入保証金	○		○
	長期預金	○		○
	破産更生債権等	○		○
	買掛金	○		○
	短期借入金	○		○
	未払金	○		○
	未払費用	○		○
	未払法人税等	○		○
	未払消費税等	○		○
	リース債務	○		○
	その他資本剰余金	○		○
	利益準備金	○		○
	自己株式	○		○
	売上高	○		○
	売上原価	○		△
	受取利息及び配当金	○		○
	有価証券利息	○		○
	仕入割引	○		○
	為替差益	○		△
	償却債権取立益	○		○
	支払利息	○		○
	貸倒引当金繰入額	○		○
	貸倒損失	△		△
	貸倒引当金繰入額	○		○
	関係会社株式評価損	○		○
	法人税、住民税及び事業税	○		○
	法人税等調整額	×		×
	広告宣伝費	○		○
	賞与引当金繰入額	○		○
	退職給付費用	○		○
	租税公課	○		○
	減価償却費	○		○
	未払事業税（税効果注記）	○		○
	退職給付引当金（税効果注記）	○		○
	減損損失（税効果注記）	○		○
	その他有価証券評価差額金（税効果注記）	○		○
	評価性引当額（税効果注記）	○		△

難易度の「○」は出来なければいけない部分 「△」は出来てほしい部分 「×」は出来なくてもよい部分 を示す。

受験生の出来の「○」はほとんどの受験生が出来ている部分 「△」は2～3割程度の受験生が出来ている部分 「×」はほとんど出来ていない部分 を示す。